

日時

H24.10.5

場所

名古屋商科大学 講義室



社協職員による高齢者の実態についての話



ユニバーサルデザインについての話



高齢者疑似体験グッズでお財布からお金をだす



高齢者疑似体験グッズ使用し歩行してみる



講義室の周りを歩いてみる



思うように体が動かず歩行に時間がかかった

〈学生の様子〉

高齢者のみの世帯が5割もいることに驚いていた。

10年後には4人に1人が高齢者ということにも。

疑似体験グッズを使い、高齢者の体になって歩いたり、お財布からお金をだしたり
してみる。黄色の眼鏡をかけるので、十円玉か百円玉か識別しにくい。

レジで高齢者がゆっくりお金を出している様子を見かけるが、

体験してなぜそうなるのかがよくわかった。体がスムーズに動かないのだ。

高齢者を対象としたビジネスを考えてみよう！ では

中学や高校の同級生と行く『再び修学旅行』や『移動コンビニ』・『出張カラオケ』
など若者らしい意見がでた。